



個人投資家向け説明会

2025年3月6日

株式会社イトーキ（東証プライム：7972）



本日の流れ

1. 会社概要
2. 2024年12月期 通期実績
3. 2025年12月期 業績予想
4. Appendix

会社名 株式会社イトーキ

本社所在地 〒103-6113
東京都中央区日本橋二丁目5番1号

代表者 代表取締役社長 湊 宏司

創業 1890年12月1日

設立 1950年4月20日

決算期 12月

資本金 5,294百万円

従業員数（連結） 3,957名

■ ワークスペース事業



事業内容

■ 設備機器・パブリック事業



上場市場 東証プライム市場（7972）

2つの事業によって構成

ワークスペース事業
1,022億円 | 75%

「働く環境」づくりを支援

設備機器・パブリック事業
345億円 | 25%

社会インフラを支えるためのものづくりや、
物流施設、公共施設などに向けた設備の
提供や空間づくりを支援



連結売上高
(2024年度)
1,384 億円

人的資本投資を背景としたリニューアル需要によるワークプレイス事業の拡大



【ドローン撮影】イトーキ本社オフィスを飛行（2025ver.）

ドローンの超スペシャリストが「ITOKI DESIGN HOUSE」を縦横無尽に撮影。
疾走感あふれる映像が完成しました。

遷移先：当社YouTubeチャンネル



A photograph of a modern office interior. The space features light-colored wooden tables and chairs, a wooden staircase, and a ceiling with exposed wooden beams and recessed lighting. The overall atmosphere is warm and minimalist.

1. 2024年12月期 通期実績

売上高 : 3期連続の増収、過去最高の売上高を更新
営業利益 : 5期連続の増益、2期連続で過去最高益を更新

売上高
1,384億円

前期比
+4.1%



営業利益
100億円

営業利益率 7.3% (前期比+0.9%)

前期比
+18.2%



当期純利益
71億円

(達成率 102.6%)

前期比
+21.6%



ROE
13.8%

前期比
+2.5pts



配当性向
37.4%

配当金 +13円 (2023年 42円→2024年 55円)

前期比
+5.2pts



エンゲージメントスコア
82.5%

前期比
+7.8pts



リニューアル案件やオフィス移転などを中心に売上高は好調に推移
増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により増益

2024年1月1日～2024年12月31日 単位：億円

	23/12 実績		24/12 実績		増減		通期予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増加率	金額	達成率
売上高	1,329	—	1,384	—	+54	+4.1%	1,375	100.7%
売上原価	807	60.7%	832	60.1%	+25	+3.1%	—	—
売上総利益	522	39.3%	552	39.9%	+29	+5.7%	—	—
販管費	437	32.9%	451	32.6%	+14	+3.2%	—	—
営業利益	85	6.4%	100	7.3%	+15	+18.2%	100	100.8%
経常利益	85	6.4%	100	7.2%	+14	+16.9%	100	100.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	59	4.4%	71	5.2%	+12	+21.6%	70	102.6%

連結貸借対照表 要旨	2023年 12月末	2024年 12月末	増減	摘要
流動資産	733	706	△26	現金及び預金の減少
固定資産	441	498	+57	D X 投資による無形固定資産の増加
資産合計	1,174	1,205	+30	
流動負債	473	554	+80	短期借入金の増加
固定負債	150	157	+6	長期借入金の増加
負債合計	624	711	+87	
株主資本合計	534	471	△63	
純資産合計	549	493	△56	

連結キャッシュ・フロー計算書 要旨	2024年 実績	摘要
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10	仕入債務の支払の一過性の増加及び給与・賞与支給額の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71	ERPパッケージの導入及び物流子会社株式取得による支出の増加
フリーキャッシュ・フロー	△81	
財務活動によるキャッシュ・フロー	59	借入金の増加
現金及び現金同等物の増減額	△21	
現金及び現金同等物の期末残高	214	

■ ワークプレイス事業

- ・ ハイブリッドな新しい働き方にあわせたりニューアル案件やオフィス移転などを中心に売上高は好調に推移
- ・ 増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により、増益

■ 設備機器・パブリック事業

- ・ 資材高等を背景とした物流施設向け設備における期ズレに加え、前期に好調だった博物館、美術館の展示ケース等の公共施設向け設備等における想定内での需要反動減により、減収
- ・ 博物館、美術館の展示ケース等の公共施設向け設備等の想定内の減収により、減益

2024年1月1日～2024年12月31日

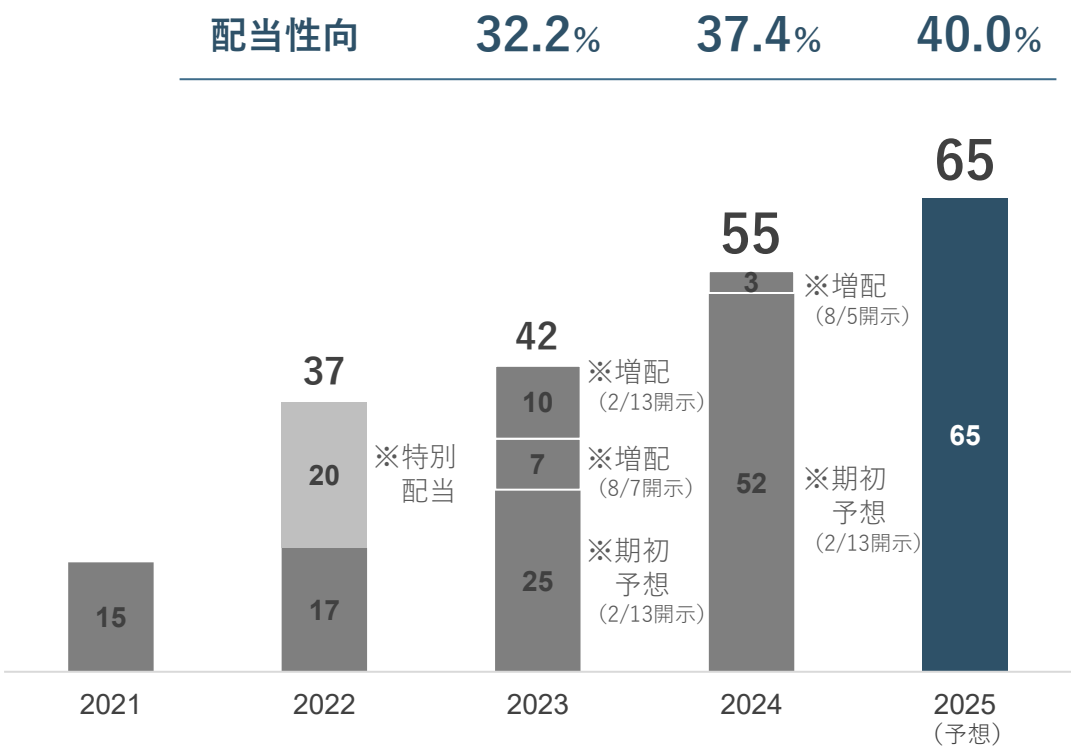
単位：億円		23/12 実績	24/12 実績	増減		通期予想	
				金額	増加率	金額	達成率
ワークプレイス事業	売上高	945	1,022	+77	+8.2%	990	103.2%
	営業利益	62	80	+18	+29.2%	80	100.0%
	〔営業利益率〕	〔6.6%〕	〔7.9%〕	—	〔+1.3pts〕	〔8.1%〕	—
設備機器・パブリック事業	売上高	368	345	△23	△6.2%	370	93.2%
	営業利益	19	18	△1	△2.6%	20	90.0%
	〔営業利益率〕	〔5.2%〕	〔5.4%〕	—	〔+0.2pts〕	〔5.4%〕	—

株主還元方針

当社は、利益配分につきましては、経営の重点政策の一つとして認識し、会社の収益状況、内部留保の充実、今後の事業展開等を総合的かつ長期的に勘案したうえで、株主の皆様に継続的かつ安定的に配当することとし、期末配当として年1回を行うことを基本方針としております。

今後の配分につきましては、更なる株主重視の経営を志向し、従来の安定配当に加えて連結業績を考慮するとともに、**配当性向40%を目指し**、配当政策を実施してまいります。また、内部留保につきましては、企業価値の向上を図るために、将来の成長に不可欠な研究開発や成長分野への戦略的な投資を中心に効率的に活用してまいります。

1株当たり年間配当金（円）の推移



A photograph of a modern office interior. In the foreground, there is a long, light-colored wooden table. To the right, a set of stairs with a wooden railing leads up. The background shows more office furniture, including desks and chairs, and large windows letting in natural light. The overall atmosphere is bright and professional.

2. 2025年12月期 業績予想

- ・ 中期経営計画の2年目として、連結売上高は、+4.7%（ワークプレイス+9.5%、設備機器・パブリック△8.9%）を見込む
- ・ 連結営業利益は、115億円、+14.1%の増益を見込む

2025年1月1日～2025年12月31日 単位：億円

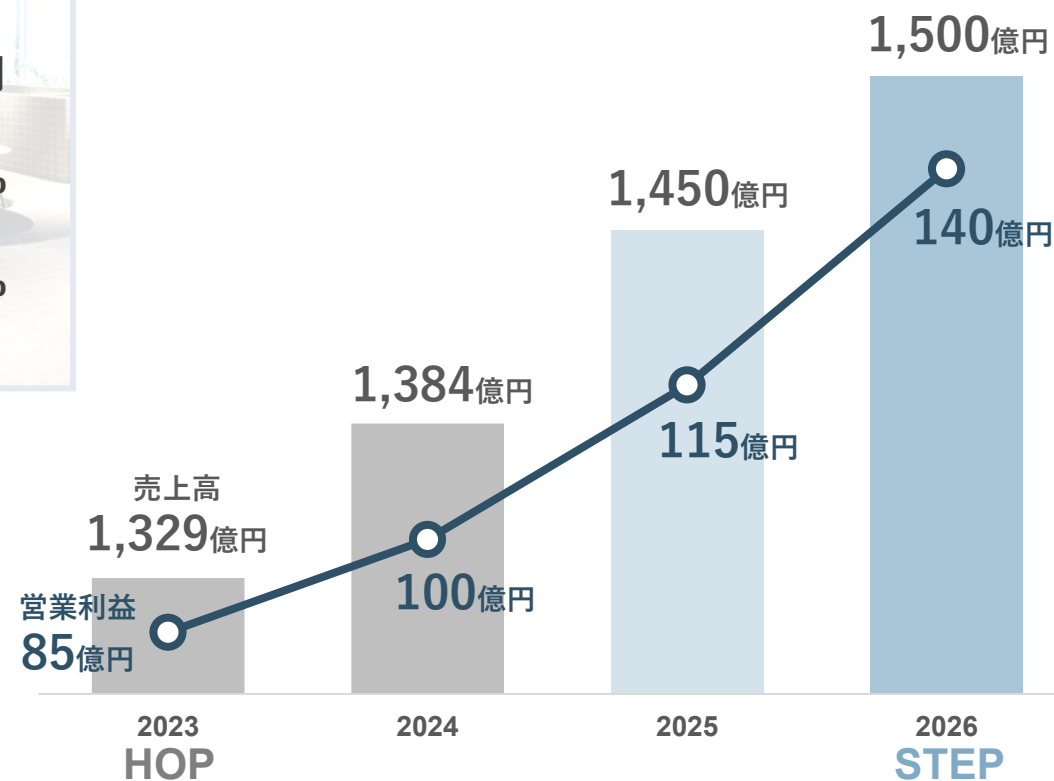
【 連結 】		2024年12月期 実績	2025年12月期 予想	増減	
				金額	増加率
売上高		1,384	1,450	+66	+4.7%
営業利益		100	115	+15	+14.1%
経常利益		100	115	+15	+14.9%
親会社株主に帰属する当期純利益		71	80	+9	+11.4%
〔営業利益率〕		〔7.3%〕	〔7.9%〕	—	〔+0.6pts〕

【 セグメント 】		2024年12月期 実績	2025年12月期 予想	増減	
				金額	増加率
ワークプレイス事業	売上高	1,022	1,120	+98	+9.5%
	営業利益	80	96	+16	+19.3%
	〔営業利益率〕	〔7.9%〕	〔8.6%〕	—	〔+0.7pts〕
設備機器・パブリック事業	売上高	345	315	△30	△8.9%
	営業利益	18	18	△0	△3.1%
	〔営業利益率〕	〔5.4%〕	〔5.7%〕	—	〔+0.3pts〕



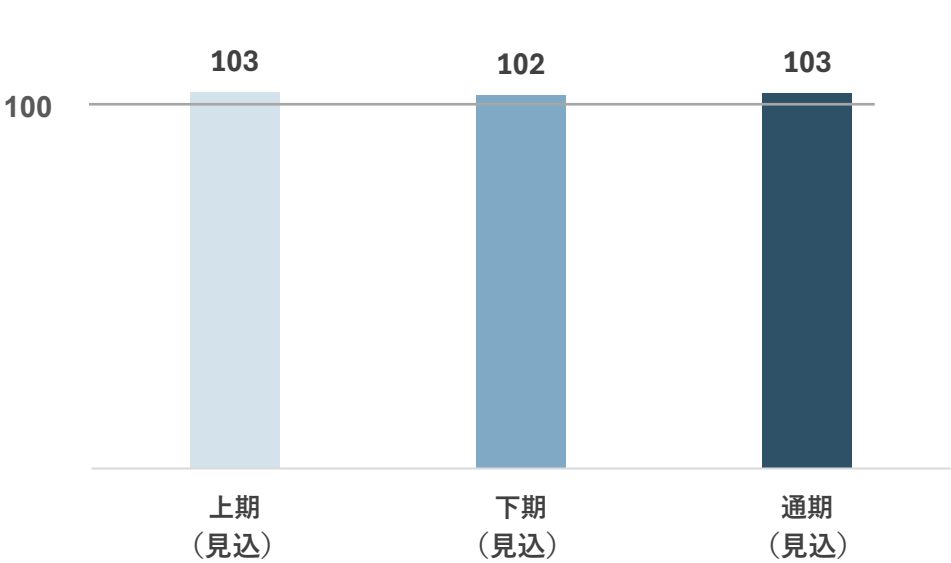
2026年
数値目標

売上高 **1,500億円**
営業利益 **140億円**
営業利益率 **9%**
ROE **15%**



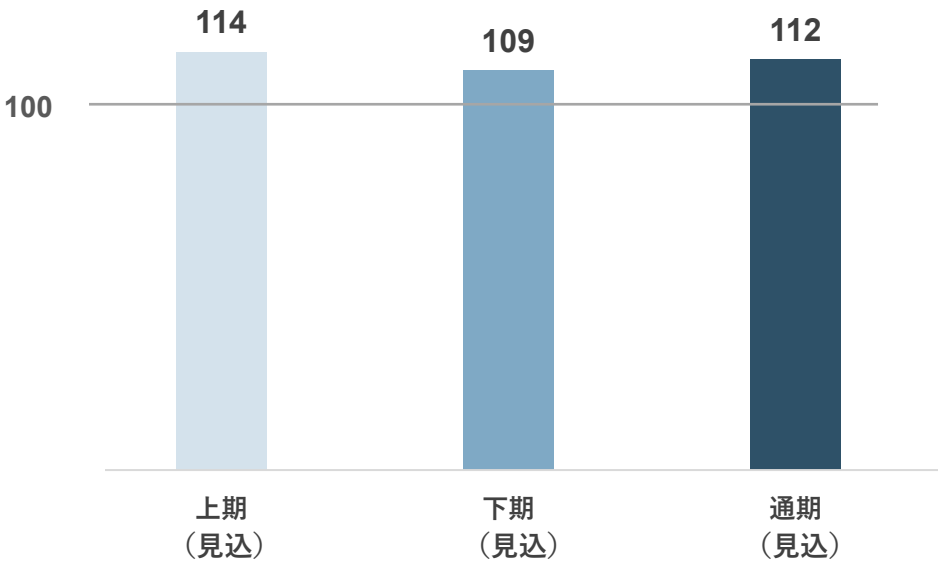
2024年度

(%) (2024年2月14日 決算説明会 掲出済)



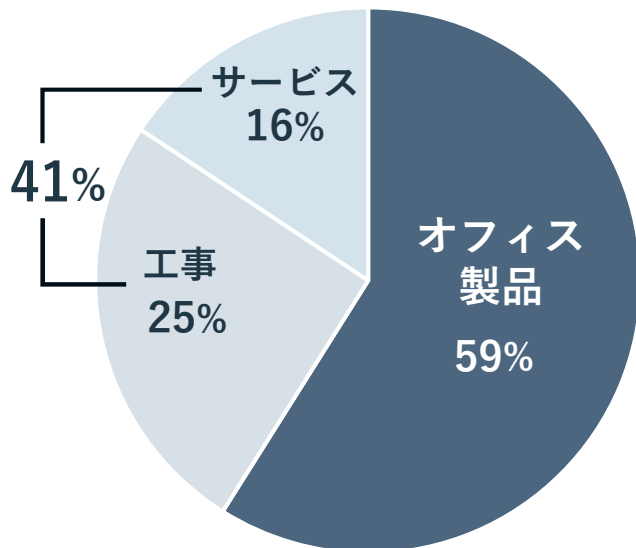
2025年度

(%) (2025年2月月初時点)



- ・ 連結（ワークプレイス事業および設備機器・パブリック事業の合算）
- ・ 前年同時期の保有商談額を100とした場合の当期保有商談割合：金額ベース

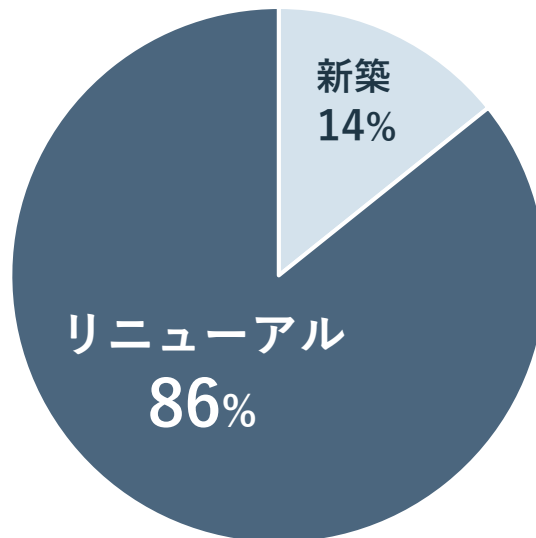
商材別構成（2024年度）



「プロダクト単体」から「オフィス空間」へ



新築とリニューアル案件の割合（2024年度）



リニューアル案件が着実に増加



東京都とその他地域の案件



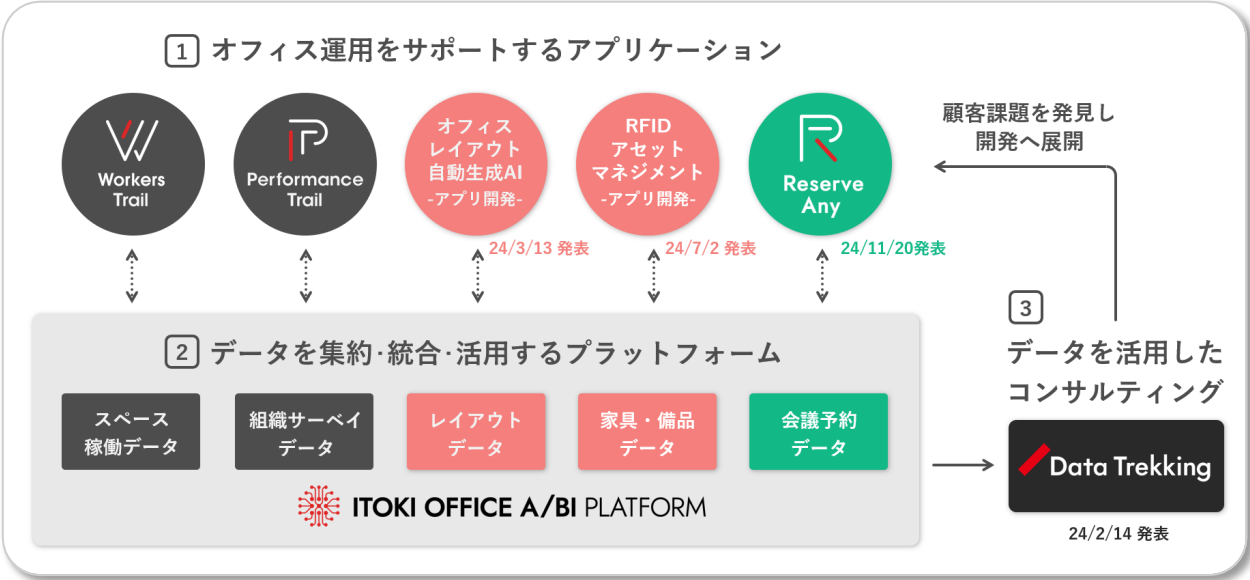
株式会社ワキタハイテクス
（福岡県筑紫野市）

地方の採用課題を背景に案件が増加



人事領域におけるエンゲージメント向上（採用力強化、離職防止、健康経営など）

アプリケーションとデータの拡充



受注状況

2024年度達成率

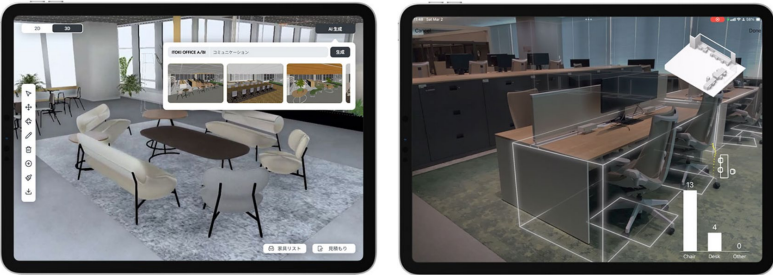
150%

(目標：40件 受注：60件)

データサービスにおける共同開発を推進



オフィスデータを活用した生成AIの共同開発を燈(株)と契約締結。



本社オフィス兼ショールームを大規模改修し、
「ITOKI DESIGN HOUSE」として
リニューアルオープン



テレビ東京系列日経スペシャル「カンブリア宮殿」
にて当社特集。経営改革を訴求



人的資本経営：社員にフォーカスを当てた企業広告「イトーキの顔」

「第73回日経広告賞」の「電気・通信・事務機器・情報部門」の**最優秀賞**を受賞
2024年12月も日本経済新聞一面に5日間連続掲載と、さらに地方3紙にも企業広告を掲載

【日本経済新聞 全国版】

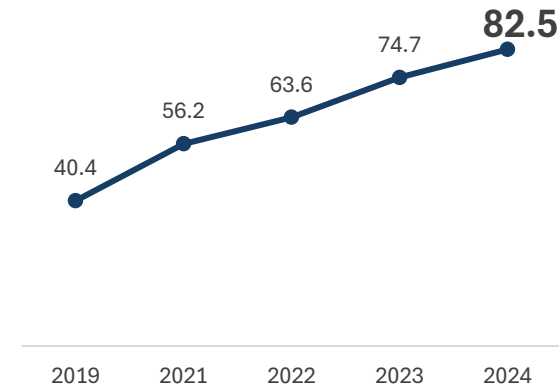


【岩手日報・北國新聞・富山新聞・熊本日日新聞】



従業員エンゲージメントスコアで
過去最高の82.5%を記録

設問「当社は誇りを持って働ける会社である」



日経統合報告書アワード 準グランプリ を受賞



特集ページ





Vision Statement

人も生き生き、地球も生き生き

Vibrant People, Beautiful Planet.

Mission Statement

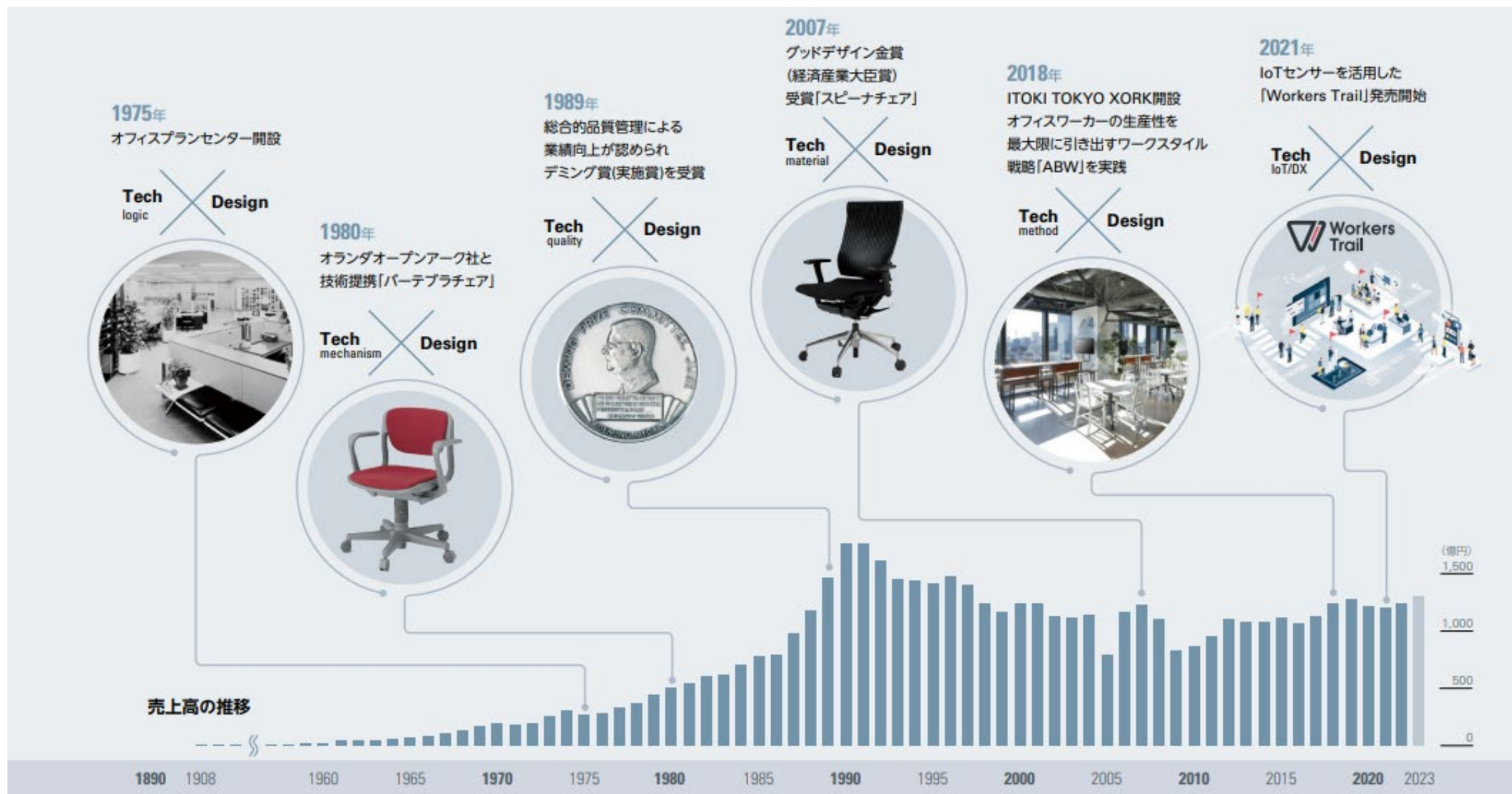
明日の「働く」を、デザインする。

We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.



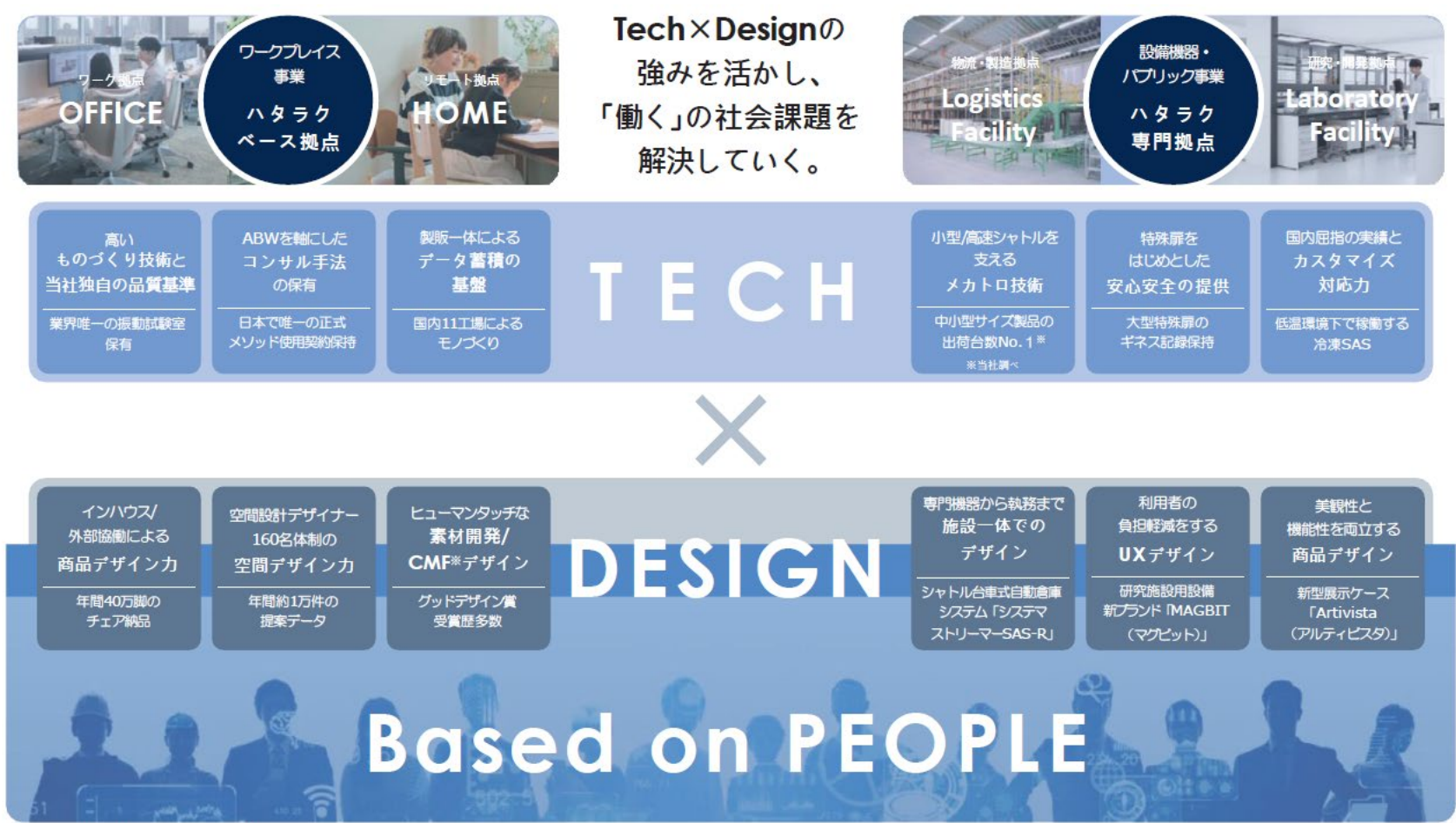
The background image shows a modern office interior. On the left, there is a long, light-colored wooden table with a metal frame. To the right of the table, a staircase with light-colored steps and a wooden handrail leads up. In the background, a large window with white frames allows natural light into the space. The ceiling is white with recessed lighting. The overall atmosphere is bright and clean.

appendix



主な価値提供領域とイトーキグループの強み

創業当時から社会にとって新しく役に立つものを広めるチャレンジ精神と「創意・工夫」を多様な人財に引継ぎ、さまざまな先駆的な取り組みを実行してきた実績・ノウハウと、130年超にわたり培ってきた信頼がイトーキグループの強み。これを、「Tech×Design based on PEOPLE」と表しています。



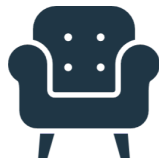
01



デジタル

Office3.0
SCMクラウド

02



デザイン

新ブランド
空間設計

03



グループ

ダルトン
イトーキマーケットスペース

04



コンプライアンス

ESG
SDGs

法令遵守の徹底

- ・ 2024年11月28日、物流業務を委託している事業者に対し、公正取引委員会より独占禁止法に違反するおそれがあるとして、行政指導（警告）を受けた
- ・ 委託先物流事業者との取引適正化に向けた取組みを全社をあげて推進し、適切な関係の構築、独占禁止法をはじめとする法令遵守の徹底を図る

<具体的な取組み>

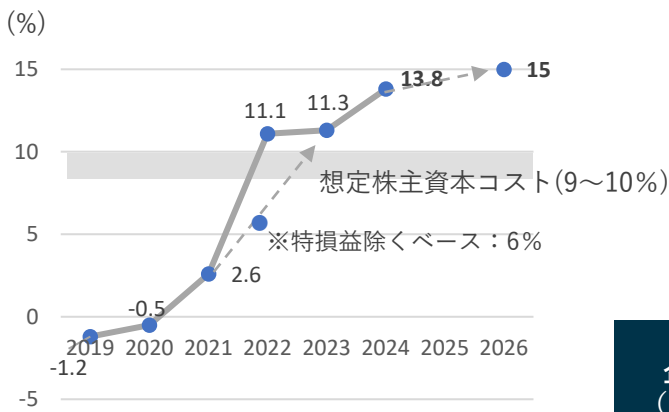
- 委託先物流事業者による過去の実働部分に係る対価相当分の支払い【対応中】
- 委託先物流事業者との間における今後の運賃体系の見直し及び書面化【対応中】
- 物流コンプライアンスに関する知見を有する担当者の設置及び教育・研修の徹底【継続対応】
- 取組み内容の社内外への周知徹底【対応済】
- 上記取組みが完了した後の公正取引委員会への報告【対応中】

SCMシステムの稼働延期

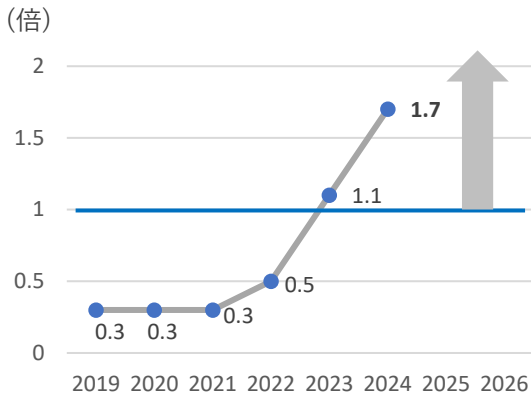
- ・ ERPの高度化に合わせたSCMシステムの稼働延期（2024年11月→2025年6月）
- ・ 2025年6月稼働以後、業務効率の向上を追求する

- ・株主資本コストは、CAPM（資本資産価格モデル）だけではなく、投資家目線として株式益回りに基づいた値も算出（想定株主資本コスト9～10%）
- ・ROE15%へ向け計画通り進捗（ROE13.8%＝売上高当期純利益率5.2%×総資産回転率1.1倍×財務レバレッジ2.4倍）
- ・PBRも大きく良化（PBR1.7倍＝ROE13.8%×PER11-12倍）

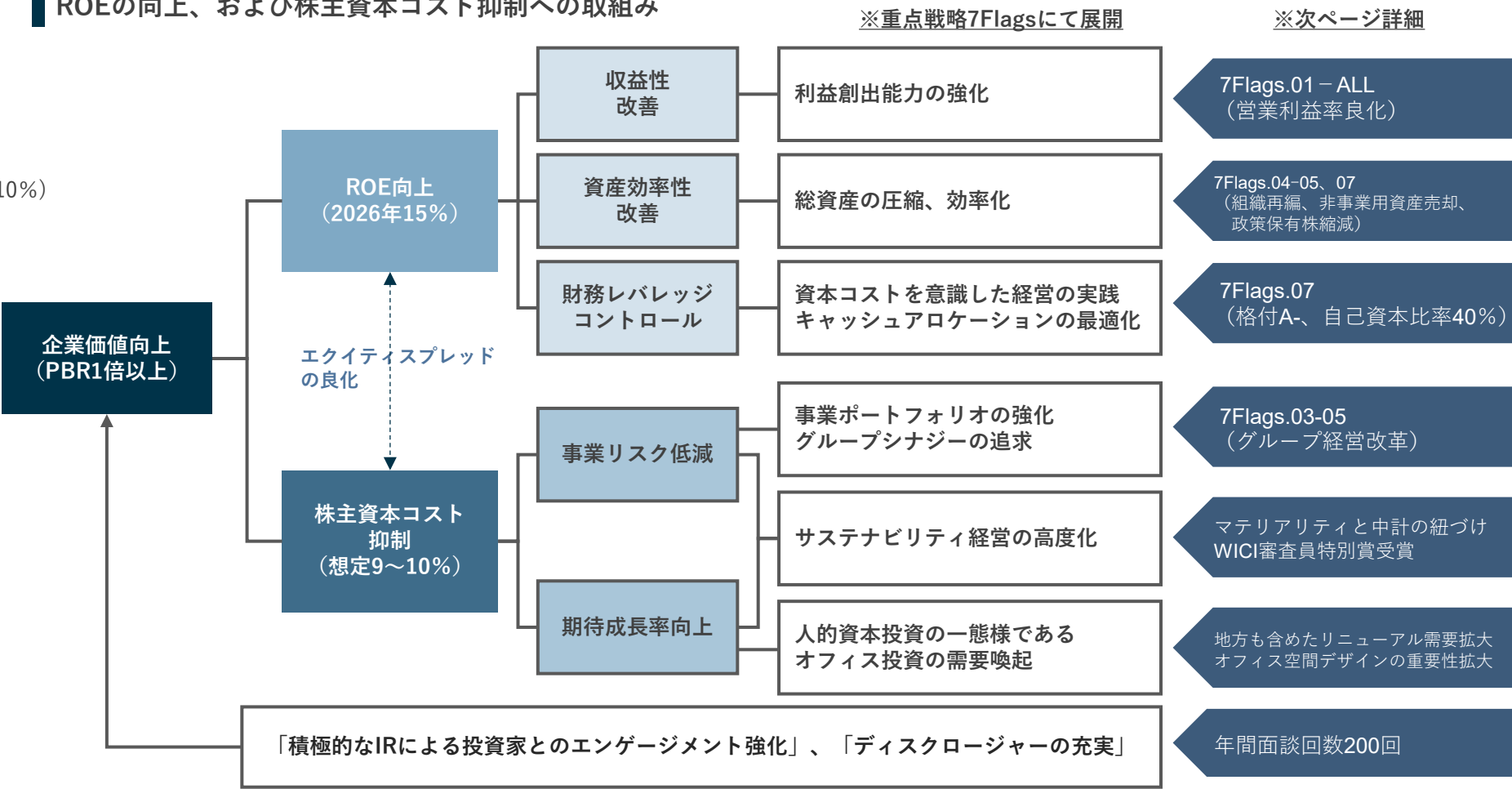
ROEの推移



PBRの推移



ROEの向上、および株主資本コスト抑制への取組み



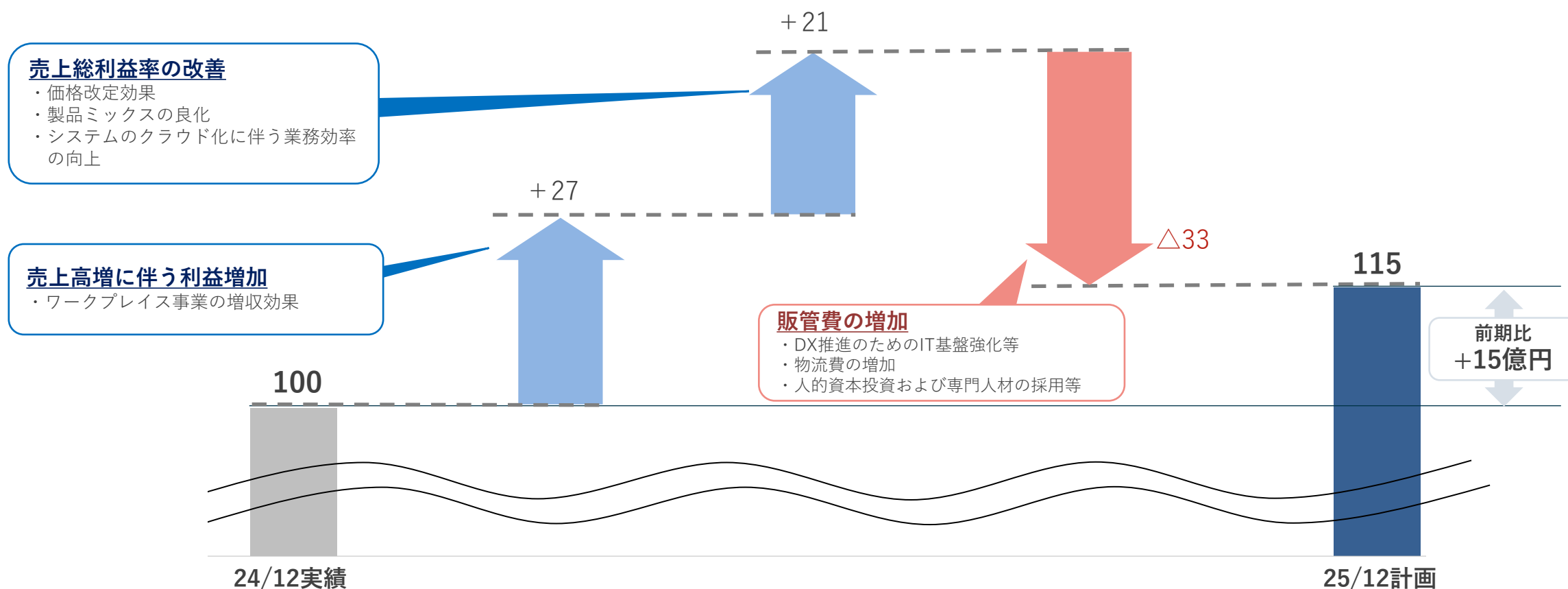
中期経営計画 重点戦略 7 Flags進捗状況



7 Flags		2026年KPI	2024年進捗（定量情報）	2024年進捗（定性情報）	2025施策の方向性
01	Office1.0／2.0 領域	- 売上＋10％成長（2023年比） - 営業利益率10％	- 売上 年率3～4％成長に対して、＋8.2％ - 営業利益率7.9％（2023年度6.6％）＋1.3P（※每期1P上昇目標）	- 価格改定（2024.7～） - 新商品発売（コワーク商品群、アドセルヘキサ） - ショールーム兼本社オフィス（ITOKI DESIGN HOUSE）のリニューアルオープン - サプライチェーン改革を踏まえた、大型商談の受注	「オフィス投資が人的資本経営の効く」考え方のもと、新築に加え、地方も含めたりニューアル需要の獲得推進
02	Office3.0領域	- 単年度売上高30億円 3年間の累積投資額25億円	契約社数ベース達成率150％（計画40社、実績60社）	- Data Trekkingローンチ 燈、RFルーカスとの協業	- ビジネスモデル構築の推進 - 会議室不足ソリューション：Reserve Any（2025.4上市）
03	専門施設領域	- 売上高300億円 - 営業利益20億円 - 開発体制の強化＋50名以上	- 対2026年利益進捗率80％ - 開発体制の強化＋21名	- マグビット発売（ダルトン） - ハノイ工科大学人財登用 - 防災シェルター特殊扉、自動調剤ストッカーの開発	- 専門施設領域向け設備の商談の強化 - 自動調剤ストッカーの実売開始
04	高収益化	- 製造原価＋物流費5％削減（2023年比） 1人当たり営業利益の増加＋50％（2023年比） - 累積IT投資80億円	- 右記各施策の実行による早期のコスト削減効果の発現を目指す 1人当たり生産性：2025年6月予定のERP稼働を軸に早期効果発現を目指す - IT投資約40億円	- 次期生産・物流・エンジニアリング体制PJ開始 - ソーア社買収（物流体制強化） - IES統合＆エンジ本部立ち上げ（組織能力強化） - オールスチール、ダルトン＋不二パウダル統合決定	- 次期生産・物流・エンジニアリング体制の推進 - オールスチール統合、ダルトン＋不二パウダル統合に伴う各種再編の推進 - ERP（SCMシステム）2025年6月稼働予定
05	グループシナジー	- 連結グループ会社営業利益率2％改善（2023年比） - グループ外キャッシュアウト30億円削減	右記、M&A・組織再編により2025年より効果発現予定	- ダルトン構造改革PJ開始 - ダルトン商品内作拡大検討開始 - 組織再編（*04と同じ）	ダルトン経営改革の深化
06	人的資本	- 従業員エンゲージメント85％ - 女性管理職比率13％	- 従業員エンゲージメント82.5％ - 女性管理職比率13.6％（2025年期初より）	- ハノイ工科大パートナーシップ締結（受入開始） - 滋賀県と高度外国人財に関する覚書締結（7月） 1,000人の全体集会、選択型研修（組織別）の強化 - 女性管理職プール人財の強化 - グループ間異動による適正配置	- 従業員エンゲージメント85％ - 女性管理職比率13％
07	財務戦略	- キャッシュアロケーション戦略投資/R&D/設備投資400億円 - 人的資本投資100億円 - 配当性向40％を目指す	- 計画通りの投資を実行 - 配当性向37.4％（期中に10円増配）	- 非事業用資産の売却 - 株主優待の開始 - 格付A－の取得	- 多様な資金調達への検討 - 配当性向40％の予想

人的資本投資を背景としたリニューアル需要によるワークプレイス事業の拡大

（単位：億円）



信用格付の取得 (格付：A－)

- ・ 2025年1月27日付で株式会社格付投資情報センターより、格付を新規に取得
- ・ 第三者機関から客観的な評価を取得することにより、経営の透明性と対外的な信用力を高めるとともに、資金調達の多様化や安定性を図る

買収防衛策の廃止

- ・ 有効期間は、2026年3月に開催予定の第76回定時株主総会の終結の時までであるが、有効期間満了を待たず廃止することを決議
- ・ 中期経営計画に基づく諸施策を着実に推進し、安定的かつ持続的な成長およびコーポレートガバナンス体制のさらなる強化を図ることが、当社の企業価値ひいては株主共同の利益の確保、向上に資するものであると判断

現 状



永田 宏（社外取締役）

略歴

元 三井物産株式会社代表取締役副社長
株式会社クレアホールディングス代表取締役社長等

役割

企業経営、営業関連



似内 志朗（社外取締役）

略歴

元 日本郵政株式会社 不動産部門 不動産企画部長
ファシリティデザインラボ代表等

役割

ファシリティデザイン、建築設計、企業経営



坂東 真理子（社外取締役）

略歴

学校法人昭和女子大学総長
株式会社三菱総合研究所 社外取締役等

役割

ダイバーシティ推進、人材育成

今 後



似内 志朗（社外取締役）

再任

略歴

左記を参照

役割

左記を参照



坂東 真理子（社外取締役）

再任

略歴

左記を参照

役割

左記を参照



川寄 靖之（社外取締役）

新任

略歴

元 三井住友FG執行役副社長
S M B C日興証券株式会社 特別顧問
ハウス食品グループ本社株式会社 社外取締役 等

役割

「資本コストと株価を意識した経営」の推進



田中 俊恵（社外取締役）

新任

略歴

元 警視庁副總監
元 警察大学校長 等

役割

コンプライアンスの強化、人材育成

設備機器・パブリック事業

研究設備機器

局所排気装置 ドラフトチャンバー



化学実験などで有害な気体が発生する場合等、安全のために用いる局所排気装置です。

連続造粒機器



高品質の錠剤を実現する製造機器。低コストで高収率、製造コストの圧縮が可能です。

公共施設商品

図書館用家具



図書館に求められる機能的且つデザイン性をもった家具を提供します。

美術館・博物館用設備



文化財の安全・展示・保存の3つの要件を併せ持つケースを展示物に合わせて設計対応します。

デジタルサイネージ

デジタルサイネージ



公共交通機関、商業施設、公共施設など、幅広く設置されています。

物流機器・ラック商品

高速立体仕分機 SAS



高速に仕分け作業し、スペースを立体的に有効利用した立体高速ピッキング仕分機です。

ラック商品・移動棚



軽中量棚やその棚を密集して使う電動・手動の移動棚です。

金融セキュリティ設備商品

金庫扉・ボルトウォール



金融機関の「安全」「信頼」のシンボルが金庫扉です。強固なセキュリティ性能を誇ります。

オフィスセキュリティ設備商品

入退室管理



認証者だけを入退室させることで、オフィスの安全を確保します。

収納セキュリティ



収納キャビネットの利用権限設定と利用履歴の記録で、重要な情報を守ります。

特殊扉

特殊扉



原子力関連施設に、様々な用途・目的で計画・設置されています。



互いに培った科学研究施設のノウハウを融合し、
研究室とオフィスのシームレスな環境づくりをトータルにサポート



＜主な顧客＞
製薬企業、大学、研究機関、化粧品メーカー等

株式会社ダルトン【連結子会社】

創業：1939年9月

資本金：1,387百万円

本社所在地：東京都中央区

主な事業の内容：研究・教育関連設備の設計・製造・販売、粉体処理機械の
設計・販売、ハイテクプラントシステムの設計・販売

 ITOKI GROUP

局所排気装置
「ドラフトチャンバー」



ラボシステムの新ブランド
「MAGBIT（マグビット）」



粉体機械製品



教育施設製品



半導体製造装置



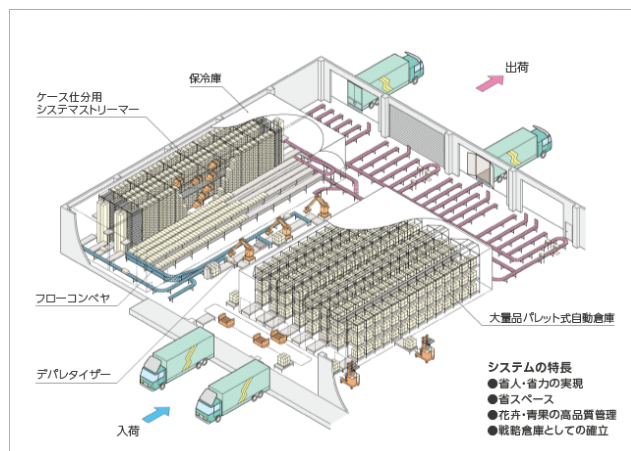
クリーン機器製品



システムストリーマー SAS [サス]

物流業界の人手不足・業務量増加を「自動化」で解決 革新の「シャトル台車式自動倉庫」

搬送にシャトル台車を用いることで高速処理を実現。
大幅な省力化と圧倒的な処理スピード、そして安定した長期運用を可能にする品質を提供しています。



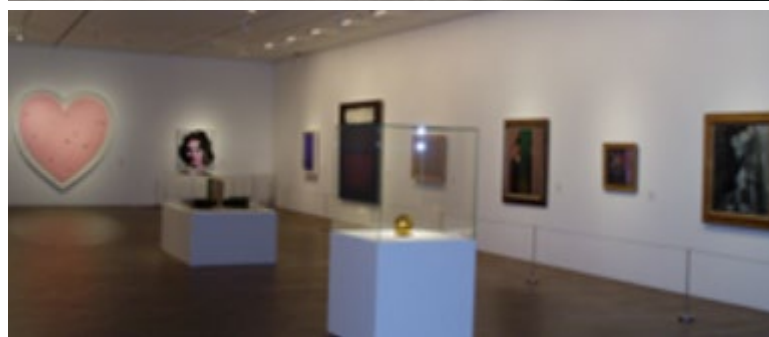
＜主な顧客＞

- 自動車工場
- 電子部品工場（生産ライン、出荷センター）
- パーツセンター
- 食品卸デリバリーセンター
- 日用雑貨配送センター
- 生花出荷センター
- 病院院内物流（SPDシステム）



＜導入事例＞ エレコム株式会社 [（動画）](#)

新型展示ケース「Artivista（アルティビスタ）」を開発し、東京国立博物館に納入
美術館、博物館、劇場など魅力ある環境・空間づくりで、地域の活性化にも貢献



「訪れる人」や「働く人」、「学ぶ人」にとって、しっかりと特化した空間づくりを
柔軟な対応力と、膨大なデータから生まれた製品ラインナップでご提案



病院（スタッフステーション）



役所（窓口）



役所（総合案内）



大学（デジタルサイネージ）



病院（待合スペース）



役所（議場）



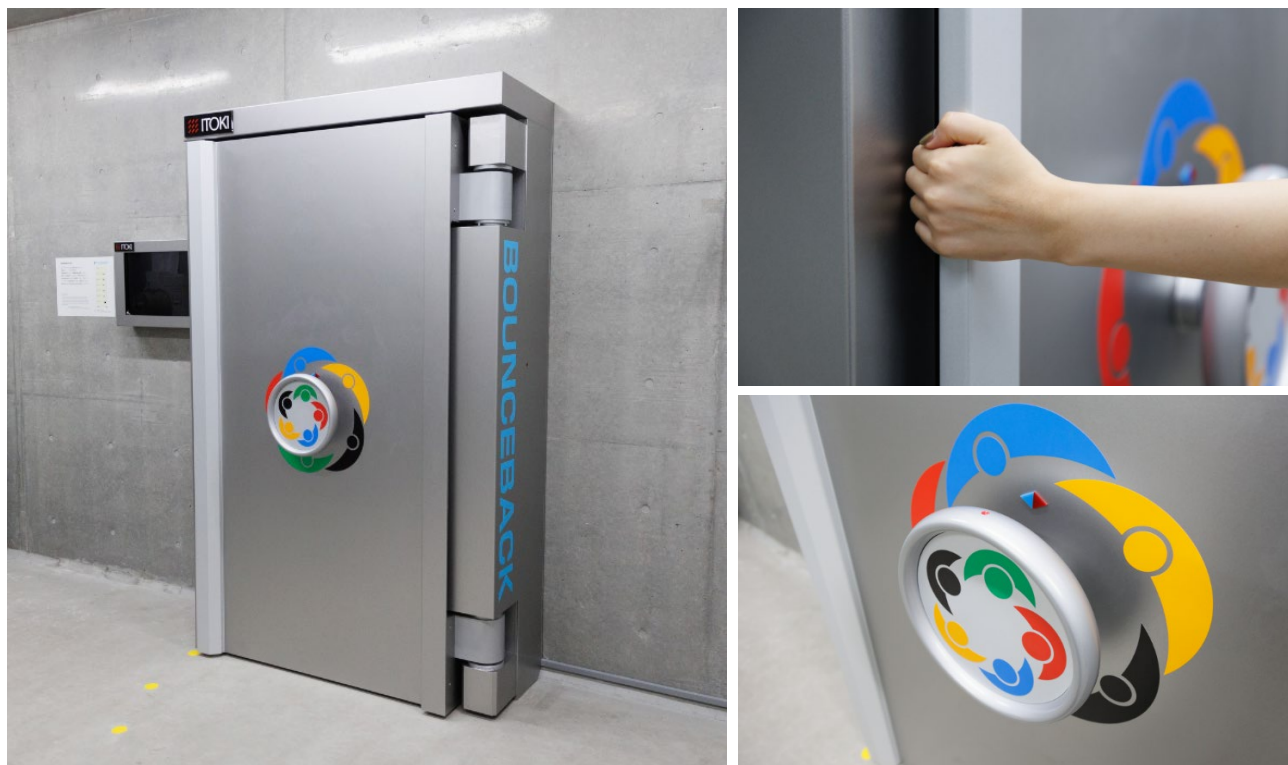
図書館（閲覧席）



大学（アクティブラーニングエリア）

部品調達および組み立てを全て日本国内で完結し、
世界基準をリードする耐衝撃・気密水密・放射線遮蔽性能を実現

BOUNCEBACK (バウンスバック)



開発した地下シェルター向け特殊扉（日本核シェルター協会モデルルームに設置）

2024年10月1日 プレスリリース



イトーキが所有する開放特許が契機となり、世界初の立ったまま寝る仮眠ボックスが誕生



オフィス導入イメージ（写真：広葉樹合板PR記事より）



広葉樹合板 株式会社
KOYOJU PLYWOOD CORPORATION

（北海道旭川市）

<注意事項>

- 当社の連結決算は日本会計基準を採用しております。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>
株式会社イトーキ
コーポレートコミュニケーション統括部
IR・SR部

電話:03-6910-3910
E-mail:itk-ir@itoki.jp
<https://www.itoki.jp/company/ir/>

明日の「働く」を、**デザインする。**